



2026年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマタネ
代表取締役社長 河原田 岩夫
(コード：9305、東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート本部経営企画部長 安田 大輔
(TEL. 03-3820-1111)

中期経営計画「ヤマタネ 2028 プラン」財務目標の一部見直しに関するお知らせ

当社は、2024年11月14日に公表いたしました中期経営計画「ヤマタネ 2028 プラン」について、直近の業績や昨今の事業環境の変動を鑑み見直すこととし、2026年5月13日開催の臨時取締役会においてその内容を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 見直しの内容

| | ヤマタネ 2028 プラン 目標 (当初計画) | ヤマタネ 2028 プラン 目標 (見直し後) | 増減 |
|--------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| 売上高 | 880 億円 | <u>1,000</u> 億円 | +120 億円 |
| 営業利益 | 47 億円 | 47 億円 | - |
| EBITDA | 92 億円 | 92 億円 | - |
| ROE | 6.5%以上 | <u>7.5%</u> 以上 | +1.0 ポイント |
| 総還元性向 | 70%~80% | 70%~80% | - |

2. 見直しの理由

長期ビジョン「ヤマタネ 2031 ビジョン」を見据えた投資効果最大化に向けた「成長期」と位置付ける中期経営計画「ヤマタネ 2028 プラン」の1年目となった2026年3月期は、バリューチェーンの拡大とグループシナジーの創出を加速させるための M&A により4社が連結グループ会社として加わりました。2027年3月期においては、4社の業績が通年で寄与することに加え、コメ卸売販売事業において、足元では政府備蓄米の放出等により需給環境は緩和傾向にあるものの、供給面での課題は継続していることから、販売価格は一定程度維持されると見込み、売上高を985億60百万円と予想しております。中期経営計画「ヤマタネ 2028 プラン」の最終年度では、その状況を踏まえるとともに中長期的な企業価値向上へ向けた更なる成長投資を進めることを計画しているため、売上高の財務目標を1,000億円に見直しいたします。

営業利益・EBITDA については、グループ全体の中長期的な企業価値向上に向けて本質的な収益力を最大化すべく、経営上の最重要資源である人的資本への投資として専門人材の採用・育成等を行うことに加え、バックオフィス業務の効率化への先行投資やグループ全体の DX 推進やセキュリティ対応強化のための IT 投資を戦略的に加速する一方で、各カンパニーでは着実に事業戦略を推進するとともに成長投資を進めることから当初計画を維持いたします。

また、ROE については、政策保有株式を 2030 年 3 月期までに連結純資産対比 20%以下にすることを目標としており、この縮減目標の達成に向けて売却を加速させるため、財務目標を 7.5%に見直しいたします。

なお、株主還元につきましては、資本収益性の改善に向けて総還元性向 70%~80%を継続することにより、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

以 上